

令和5年度土地家屋調査士試験筆記試験（記述式問題）の出題の趣旨

本年度の土地家屋調査士試験筆記試験の記述式問題は、以下の事項に関する知識及び能力を試すための出題です。

○ 午前部

【第11問】

- 問1 夾角及び距離から座標値を求める計算の基本的知識を問うもの
- 問2 座標値から夾角及び距離を求める計算の基本的知識を問うもの
- 問3 2直線の交点の座標値を求める計算の基本的知識を問うもの
- 問4 相似である三角形の辺長比と面積比から座標値を求める計算の基本的知識を問うもの
- 問5 座標法による面積計算の基本的知識を問うもの
- 問6 図面の正確な作成を求めるもの

○ 午後部

【第21問】

- 問1 地積測量図についての正確な知識及び理解を問うとともに、問題文に記載された事実関係及び資料から、イ地点及びロ地点における筆界点の正確な判断を求めるもの
- 問2 問題文に記載された事実関係及び資料から、与えられた座標値を用いてB点及びH点の座標値を求める計算の基本的知識を問うもの
- 問3 問題文に記載された事実関係及び資料から、申請すべき乙土地に関する登記（土地の分筆の登記）の申請書に添付する地積測量図の正確な作成（図形の正確な描画を含む。）を求めるもの
- 問4 問題文に記載された事実関係及び資料並びに問1で検討した筆界から、土地の筆界の位置及び依頼人の依頼内容を的確に把握した上で、申請すべき登記の内容（土地の地目の変更及び合筆の登記等）を正確に読み取ることが求めるとともに、その申請情報及び添付情報の内容並びに登録免許税の額についての正確な知識及び理解を問うもの
- 問5 不動産登記法第14条第1項の地図を作成するために必要があると認めた場合に、登記官が職権により行う分筆及び合筆の登記についての正確な知識及び理解を問うもの

【第22問】

- 問1 (区分) 合併についての正確な知識及び理解を問うもの
- 問2 問題文に記載された事実関係、資料及び依頼人の依頼内容から、申請すべき登記の内容(区分建物の表題部の変更の登記及び区分建物の(区分)合併の登記)を的確に読み取ることを求めるとともに、その申請情報及び添付情報の内容並びに登録免許税の額についての正確な知識及び理解を問うもの
- 問3 問題文に記載された事実関係及び資料から、問2の登記の申請書に添付する建物図面及び各階平面図の正確な作成(図形の正確な描画を含む。)を求めるもの
- 問4 問題文に記載された資料から、区分建物が新築された当初より専有部分とその専有部分に係る敷地利用権とを分離して処分することが禁止されていることを読み取った上で、区分建物の表題登記の申請において提供すべき添付情報の一つである(分離して処分することを可能とする)規約証明情報についての理解を問うもの